

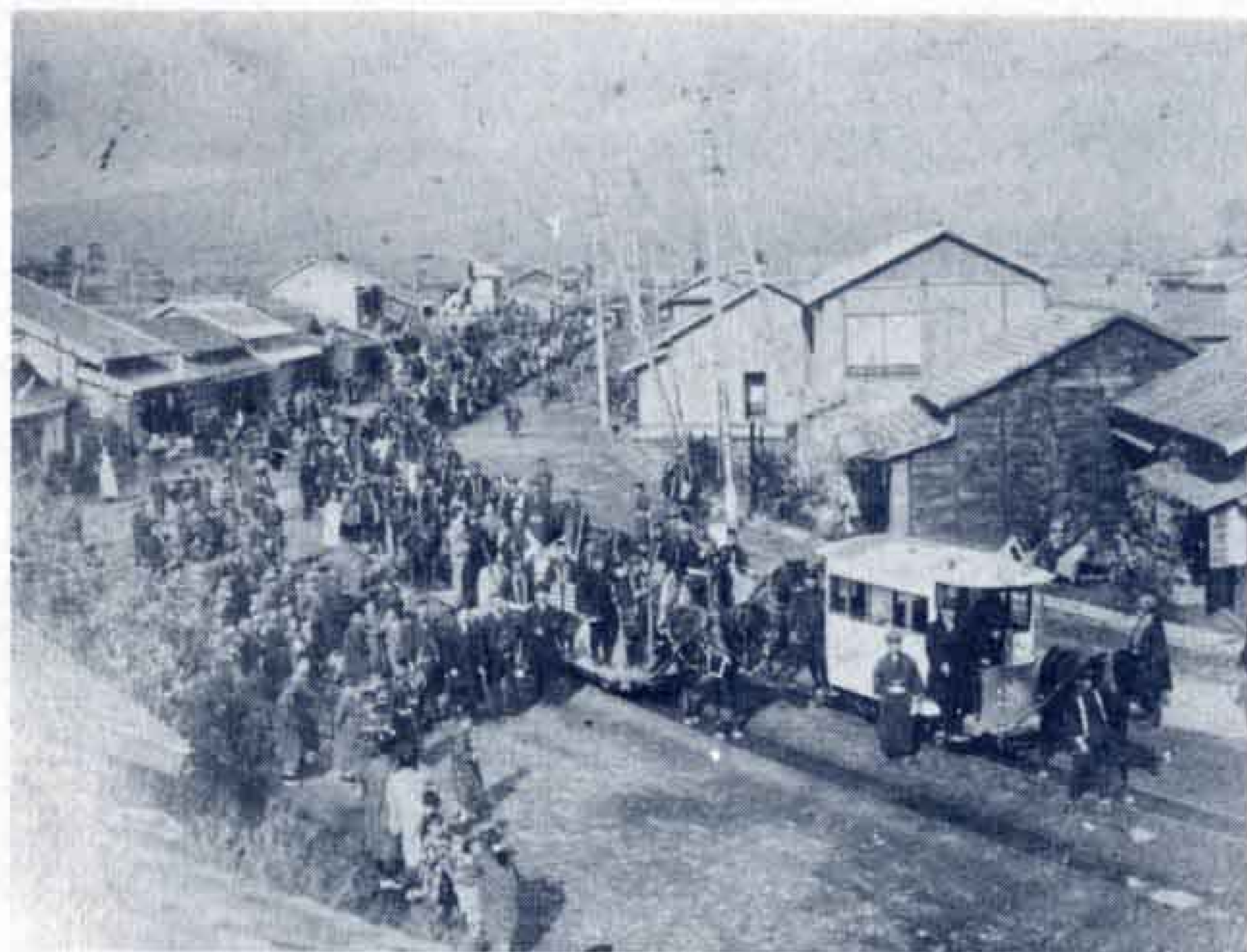
# 富士の今と昔 ⑤

明治42年4月、東海道線に富士駅が開設されたことに伴い、富士馬車鉄道が富士駅前から長沢まで連結されました。写真はそのときの富士駅前での祝賀パレードです。(古い写真をお持ちの方は、市広報広聴課へご連絡ください。)



区画整理された駅前

音 明治42年の富士駅前(中央図書館蔵)



矢野さくよさん(88歳)は、「田んぼばかりだったのが、駅ができてにぎやかになったもんだ」と話してくれました。



橋田 権治さん



テン

沖合いを低気圧が通ると、暴風雨が森に荒れる。時に夕立があり、森の若葉の匂いが一層深くなる。そうかと思うと暑い日が2、3日続く。

モリアオガエルの卵塊は日照りには表面が固くなり、雨が降ると熟成した塊が崩れて水の上に一片ずつ落ち、早くも小さなオタマジャクシとなって泳ぎ出す。

森にはイボタの花、アワブキ、ヤマボウシ、カマツカ、エゴノキの白い花が次々に咲き、道のべにはシモツケ、ササユリ、サンショウバラの淡紅色、それに薄紫と黄のヤマオダマキが咲き始める。サクラ、モミジイチゴの実が熟し、イカルの群が集まる。

ある霧の朝、広場から道にかけておびただしい桜の実の核だけの糞が散らばっていた。どこから来たのかテンの群が夜中、桜の実をあさり、またどこかへ去った宴の跡と見えた。肉食のくせに時折ノブドウ等を大量に食べるという。彼らの糞は鳥と違い、白い尿が混じっていない。

梅雨に入ると、毎日霧深い日が続く。シジュウカラやヒガラが一番ピナもこの頃巣立っていく。

## ぼくの作品 わたしの作品



お母さんが夕飯に、ソーセージをつくってくれているところと、友だちとサッカーをして遊んでいる絵を書いた須津幼稚園のお友だちの作品を紹介します。



しまいゆたか



おおしまゆたか

